



えぼ丸通信 No.5



えぼし麻呂

げんき丸

- 1P 在宅医療と介護の連携推進事業
- 2・3P 専門職紹介 在宅医師
相談実績
- 4P 住民向け講演会お知らせ
多職種連携研修会

発行元：茅ヶ崎市保健所
 地域保健課在宅ケア相談窓口
 〒253-8660
 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 8-7
 TEL 0467-38-3319（直通）



平成30年度 在宅医療と介護の連携推進事業

茅ヶ崎市と寒川町では、今年も専門職の皆さんの力を結集し、在宅における医療や介護の連携をより発展させるための



事業を進めていきます。この事業は「在宅医療介護連携推進部会」を中心として、その下に検討グループを持ち、様々な課題に対して話し合いを行います。その第一回目の部会が、5月31日に開かれました。

当日は、がん患者さんの在宅療養に関する事や、訪問診療を行う医師と他の職種との連携についてなど、地域の課題について熱心な討論が行われ、それを元に、今後検討グループでより具体的な話し合いを行います。活動の内容については、今後この広報紙等を通じて皆さんにお伝え

していきたいと思います。住民の皆さんからのご意見もお待ちしております。



地域医療介護専門職紹介 第二弾 在宅医師

医師の在宅での役割は、いろいろありますが、かかりつけの患者さんが通院できなくなった場合に自宅にうかがって診療をし、本人、家族、連携スタッフに安心感を与えることです。



その前段階でかかりつけ医は、自分の専門領域外でもできるだけ対応し、どうしても対応できなければ信頼できる他の医療機関にタイミング良く紹介します。医師は自分の患者さんを紹介したら「終り」ではなく、最後までフォローすることです。つまり、入院したのか、回復したのか、具合はどうか、どんな検査をしたのか、その結果などについて一緒に心配し関心を持つことです。よりそうことで患者さんに安心感が生まれます。患者さんと医師との信頼関係がなければ、通院でも在宅でも上手くいきません。

この夏、思い出に残った在宅診療がありました。90歳を超える老男は、つい最近妻を亡くし、意気消沈気味で腰痛から歩行がうまくできなくなりました。老男は、昭和から芹沢で妻と農業を営み、一代で大きな農地を残しました。息子が後をついでからは、徐々に農作業もしなくなりました。物忘れも多くなり、通院したくないと言いはじめ、薬を処方する事も難しくなりました。食欲も落ち気味でデイサービスにも行きたがらなくなったため、家族が心配し、冬から訪問診療をすることになりました。

診察室とは違い、こたつで老男はいきいきと芹沢での農業の歴史を語ってくれました。私が芹沢で子供のころに遊んだことを話すと、ホタルの話喜んでしてくれま



した。1時間を過ぎると老男には、活気が出てきました。その後も芹沢の話をする度に目を輝かしていました。その後、訪問診療と同時期に訪問看護を開始し、清拭と点滴を行ってもらいましたが、下痢、腹痛が改善せず食欲はなかなか回復しませんでした。入院治療はしたくないとの意志が強く、自宅で静養を続けました。

初夏になり軒先の畑に大きなひまわりが咲いたことを伝え、翌日老男は、自宅で息をひきとりました。日差しの強い、夏の芹沢が思い出となりました。

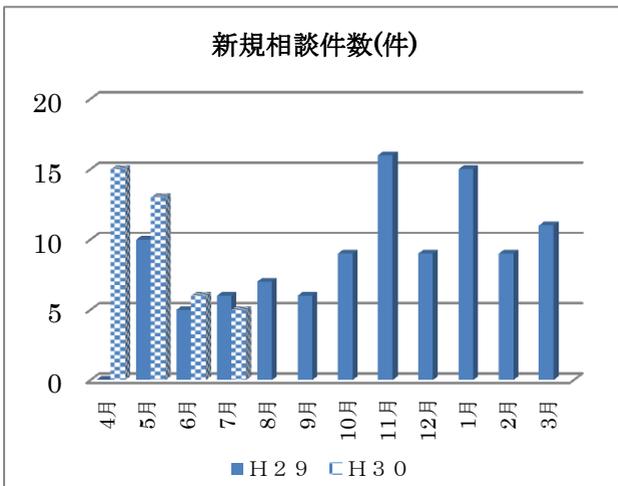
(*事例は家族に許可をいただいて掲載しています。ひまわりもご自宅に咲いていたものです。)



茅ヶ崎医師会 理事 大木教久

在宅ケア相談窓口相談件数

平成30年7月末現在



H29年度 相談状況

相談件数 120 件
 新規 103 件
 継続 17 件

相談者内訳
 住民 52 件
 専門職 51 件

住居別件数
 茅ヶ崎市 85 件
 寒川町 16 件
 不明 2 件



☆☆☆住民向け講演会のお知らせ☆☆☆

講師：上野千鶴子先生

テーマ：「おひといさま」が最期まで自分らしく生きるには
～安心して老いるために準備すること～



今年は、寒川町民センターをお借りして、多くの方に参加いただける体制を整えます。昨年参加できなかった方も、ご家族や友人等お誘いいただき、これからの“生き方”を考える機会にしませんか。

- 日時：平成30年9月24日（月曜日・秋分の日振替休日）14:00～
- 場所：寒川町民センター（寒川町宮山165番地）
- 申込み先：茅ヶ崎市保健所 在宅ケア相談窓口 TEL 0467-38-3319



平成30年度 多職種連携研修会 <専門職対象>

年間テーマ：「それぞれの役割を理解して、連携の質を高めよう」

第16回 平成30年7月12日 参加者315名

テーマ：がん患者の終末期における連携を考える

講師：水沼信之医師（水沼医院院長）

引野雅子医師（ひきのクリニック院長）

座長：小林一博医師（茅ヶ崎市立病院 診療部長）



小林医師



水沼医師

引野医師



今回の研修会は、がん患者さんの治療や在宅医療に深い知識と経験があるお二人の医師に講師となっていただきました。

最先端の治療や在宅療養での実際についてお聞きすることができ、学びの大きな研修となりました。

第17回 平成30年10月18日予定

テーマ：自分の仕事を知ってもらおう（在宅への思い）

第18回 平成31年1月24日予定

テーマ：がん患者の終末期緩和ケア